

## 天 南 星

この星は人生にたとえますと、人間社会の最前線である青年期です。

この時期には何事においても希望が芽生え、確固たる自負心と自我心に支えられ、人生における目的と希望に満ちあふれた時代です。それだけに、この星には「反骨精神」「冒険」「躍動」「希望」そして「目的」という意味合いが含まれていますが、それらはすべて「青春」の一言から生れている現象なのです。

天南星の世界に生れた人は、少なからず若い世代において人生の目的を形成していくのですが、目的を急ぐあまり、どうしても手段に粗野な一面をつくるオソレがあります。(それは一本気な直情に由来するからです)

そして一つの目的に向かって全精力を一心に傾けるのです。(それが仕事であれ、遊びであれ、結婚であれ、同じことなのです。何事においても一度前進させたなら「進むを知って退くを知らない」力量を發揮するのです)

しかし、同時にいくつもの仕事を消化することは決して出来ません。もし天南星の世界が複数の目的を持って行動に走ると人生に神は決して味方をしてくれないのです。

天南星世界は常に若く強烈な個性の持ち主を多く輩出しますが、人生行程の前進期にあたっているため、何事に関しても前進させることが、この世界の役目なのです。

### ■初年運(人体星図の肩のところに割り出された星で、この位置を算命術では「初元」の場所と言っています。)

生れてから成人に達するまでの初年運をみます。主として子供の頃に現れる性格や希望が現われますが、この星は青年になる迄のものの考え方や性格づけが発揮されるとともに、本人一生の性格として持ち続けられる星でもあるのです。三つ子の魂、百まで…のたとえで子供のころの性格は大人になっても消えるものではありません。

人体星図に天南星が二つ以上出ている人は、

### ■中年運(人体星図の左足の位置に割り出された星で、この位置を算命術では「中元」の場所と言っています。)

青年期から壮年期にかけての運勢を算定します。人生のアイデンティティ(役目意識)はここに算出された星から生れます。また職業意識や社会観なども、この星から生まれると云っても過言ではないでしょう。

### ■晩年運(人体星図の右足の位置に割り出された星です。)

晩年期の運勢を算定します。人生の究極においてどのような人間性と悟りが持てるかをこの星で量ります。算命術では、この位置を「本元」とも言いますが、それは人生を生き抜いて来た社会に対する役目や価値を見つけ出す大切な場所という意味からです。